

私たちにとって、大事なことは、 安心につながる「安全」があること。

長きにわたる議員活動で強く思うのは、ありきたりの言葉でしか表現することができませんが、私たちにとって最も大切なことは、「何よりも市民の暮らしが『安全』であること」です。いつの時代も、安全が「安心」につながっているからではないでしょうか。

だからこそ、私たちは「安全」を確保するために、防犯防災に力を入れた取組みを重ねてきました。私は、防犯防災に欠かせないのは、「地域のコミュニケーション」であり、住民同士の信頼関係だと思えます。

そして、まちづくりでの「住民参加」「市民参画」とは、縁があって居を構えている地域で、心穏やかに、平和に暮らす基盤をつくるためにも捉えています。

現在、出生率が低下し、国の予測よりも8年も早く出生数が80万人を下回る現状が発表され、多摩市の出生率は、都内でも最低レベルです。子どもたちが減少している今こそ、「子どもが安全、安心できる環境」について、これまで以上に真剣に取り組む必要があると考えます。

社会を支えていく、まず子どもから！

そのためにも、「分かち合うこと」をもっと大事にしていく必要があります。財政状況の厳しさも含め、形だけでなく、もっと市民とひざ突き合わせて話し合い、希望ある将来に向けた行財政改革をしていくことが求められているのだと思います。

そのうえで、未来を明るく生き抜く私たちのために、みどり・水・環境・すべての生態系だけでなく、「わたしたちの暮らしのありよう」そのものを捉えて、課題を見つけ出せるような地域づくり・まちづくりをもっと、もっと加速化させたいと考えます。

真っ先に、「現在」を維持することだけに固執せず、「いのちの安全・安心」への取組みをレベルアップするために何ができるか。

その歩みをはじめとして、必要な政策を優先するための市政運営ができるよう、時には受けるであろう厳しい批判や非難に向き合い、とことん対話を続けていく。「目先以上に、将来を見据えた市政の改革・改善」に取り組んでいく覚悟です。

2040年、1人の高齢者を1.5人の現役世代で支えられる地域づくりを！
ひきつづき、私の活動へのご理解をお願いいたします。

岩永 ひさか



多摩市議会議員 *Report*
ほうれんそう170号

発行/岩永ひさかとゆめ・まち会議 (住所/諏訪2-2 B410) 連絡先/042-371-0763 (留守電専用)



←公式ホームページ
ブログ日々更新中！

●プロフィール

1977年 兵庫県神戸市生まれ
1989年 北諏訪小学校卒
1992年 桐朋女子中学校卒
1995年 桐朋女子高等学校(普通科)卒
1999年 中央大学法学部政治学科卒
1999年～2002年
中小企業金融公庫 (現・日本政策金融公庫)勤務
2006年 明治大学公共政策大学院
ガバナンス研究科修了(公共政策学修士)

2002年4月 多摩市議会議員補欠選挙初当選
現在6期21年目

2002年～2007年 多摩生活者ネットワーク所属
2007年～ 民主党→民進党に所属
2017年12月に離党して以来、所属政党なし。

「継続は力なり。諦めなければ大丈夫！」が
モットー。



多摩市在住 38年
諏訪2丁目(プリリア多摩ニュータウン)在住
家族/娘18歳(大学1年生)



子どもに
ツケを
まわさない！

住みたいまちをあなたとつくる。 「違い」を力に変えていく！

政策づくりの視点①

見捨てない、排除しない
支え合いの地域社会を
つくっていく

一人ひとりの生きる権利、
生きる力を大切に、多様性が発揮
できるわたしたちのまちをつくる。

政策づくりの視点②

住み心地、
くらし心地を
守り高めていく

「わたしたちの今」だけではなく、
活き活きとした「子どもたちの
将来」へとしっかりとつなぐ
「持続可能性」を確立する。

政策づくりの視点③

「市民・行政・議会」相互の
コミュニケーションを
大切にしていく

市民の参画、市民との対話に必要不可
欠なわかりやすい情報提供とその情報
にアクセスしやすい環境づくりを重視し、
信頼しあえる市政をつくる。

2040年、
1人の高齢者を
1.5人の現役世代が
支えていく時代と向き合う
地域づくりと人材育成を！



これからも、これまでも
未来を担う子どもたちが
最優先！



子どもたちの笑顔が地域社会の夢と希望をつなぐと思います。所得の格差が子ども格差につながる現実と向き合いながら、「教育福祉」の視点から、地域で一人ひとりの子どもたちが育つ権利と学ぶ権利を守ります。

不登校支援・不登校特例校の設置/個に応じたきめ細やかな教育の推進
教育センター機能の再構築/子どもたちの遊び場、居場所づくりの充実
児童館の再編とユースセンターの設置/包括的性教育の実施と人権教育推進
完全米飯給食(和食の再評価)の実施/社会的困難を抱える家庭への支援
子どもと共に学び、考え、行動する食育と環境教育の推進



「喜び・楽しみ」を
つくりだし、広げていくことを
最優先！



一人ひとりの豊かに暮らしを支えるのは人とのつながりだと思います。地域・まちでの「顔の見える関係」を大切に、「モノ・コト」が循環し、「心のつながり」が感じられるコミュニティづくりをすすめます。

外出を助ける公共交通の再編と充実/スポーツや文化活動の支援と「いきがづくり」と「健康づくり」を応援できる環境/誰でも食堂、まちかど保健室、認知症カフェ等、心安らぐ「場づくり」の支援/訪問型介護・看護の充実と介護予防の充実/公園や公共施設など市民の財産を市民が有効にいつまでも活用するための仕組みや方法/図書館や公民館での学びの充実/「食」と「農」をつなぎ、「いのちの循環」を可視化する取組みの推進



HISAKA'S Style

政党や特定団体の支援を一切受けず完全無所属で 活動中



公平公正な姿勢！
市民全体に向けた活動
を心がけ、個人後援会
はつくりません。

政策づくりが議員の仕事！
議員としての専門性を磨き、
市民の自治力の向上をバック
アップします。

話し合いが大切！
意見の違いは粘り強く議論を
つづけることで、「第3の
道」を見つける努力をします。